



2018年3月6日(火)第1763回 柏南ロータリークラブ 週報

2017-2018年度会長：小林 亘 幹事：小林義和

会長挨拶

5日の地区大会には沢山の方が参加を頂き、早朝から夜までの長丁場であったにも関わらず協力的に過ごして頂きました事を改めて感謝申し上げます。寺嶋Gを輩出している分区という事で運営の手伝いをしたり、人数が昨年に比べてかなり多かったという事で会場に入りきれないということが起こり、10分区はロビーでモニターを見ながら参加と言う形で協力をしたりと、何かと大変ではありましたが、無事に一日を終えることが出来ました。ありがとうございます。前日の土曜日にも会長幹事として参加してまいりましたが、内容が結構ロータリーらしくて良かったのでは？

講演では、RI会長代理の松宮剛様が「ロータリー？」というテーマの中で、ある宗教学者の話を引用して、「人は思考をする限り、宗派は増える。活力を生み出すためには、その異なる力の衝突が必要である。だから戦争を止められないと言う事もあるのだけれど、多様であることは生命力の第一原理である」との話が印象的でありました。

2日目に講演をした小宮山先生は、第28代東京大学総長で、現在は三菱総合研究所の理事長だそうです。日本を代表する知識人のお一人でございます。小宮山先生は、日本を称して課題先進国と呼び、日本は課題解決先進国として世界に先駆けて、超高齢社会や最近の働き方改革などの問題解決でリーダーシップを取ることが求められている。プラチナ社会を創る、といった話をしていたように思います。

最後の懇親会では、我がクラブの奨学生であります、包秀秀さんの民族舞踊で大盛り上がり、会長としても思いでに残る地区大会になりました。

卓話：米山奨学生 包秀秀さん

皆さん、こんにちは、麗澤大学大学院の包秀秀です。

この度地区大会の懇親会の時、皆様のホットな応援をいただき、ありがとうございました。

今日、私はロータリー米山奨学生として最後の例会です。卓話の機会を与えていただき、ありがとうございます。最後の例会なのでより高度な話をしようと思っていましたが、せっかくの機会なので、どんな簡単な言葉でも、楽しんで自分の思いを伝えていきたいと思えます。よろしく願いいたします。

今年の4月まで、来日してから4年半になりました。振り返ってみればあっという間な時間ですが、よく考えてみると、この約5年間いろんな人と出会い、たくさん新たなことを体験することができて、とても充実していて楽しかったです。

去年、4月から米山奨学生になってこの1年間、最初のオリエンテーションを始め、お世話クラブ例会、研修会、学友バーベキュー、卓話など、前月の「ライラセミナー」もそうですし、色々な活動に参加させていただき、本当に感謝しております。

それでは、本日卓話の方に入りたいと思います。本日の卓話は主に「わたしの家族」「日本とロータリーの出会い」「ロータリーに対する理解と感謝の思い」という三つを中心にお話ししたいと思います。

私の家族は3人家族で、父、母と私です。お父さんは「発電所」の会社員で、お母さんは服装工場の課長でした。しかし、90年代後半中国の国有企業改革が行われ、それとともに両親が「シアガン」ということになりました。

「シアガン」とは職場との契約は残っているものの、地位を失った状態です。つまり、両親は「失業者」になりました。そのあと、両親が裸一貫から身を起し、服装に関する小会社を作り上げました。父は歌が大好きで、その時期、父はいつも「爱拼才会赢」という曲を歌っていました。「努力してこそ成功する」という意味の曲です。そして、父が「努力は必ず報われる、どんなことが起こっても前を向いて進むことが大切よ」とずっと言ってきました。なので、今までの私はどんな困難があっても、それを乗り越えるように、ずっと前向きな気持ちを持っています。

私のお母さんはとても優しく、私と仲間のように、なんでも母と相談できます。このような母がそばにいるおかげで、私はどんな悩みがあっても、解消できます。

次は私が日本とロータリーの出会についてお話しします。

日本で留学すると考えたのは、叔母の影響です。子どもの頃、日本に留学していた叔母が中国に帰ってくるときに、かわいいキャラクターのお土産、日本製の高性能なカメラを見せてもらったことがありました。また、大学に進学するときに日本語を第二言語として履修して、異なる言語から日本の文化への理解を深めてきました。そして、日本語先生になりたいという夢を持つことができました。

それで中国の天津師範大学に卒業して、日本に来ました。日本に来る前に、両親と約束しました。「第一年目の学費だけをもらう、そのあとの学費は自分で払う」という約束しました。なぜかという、同じ年齢の人たちは多数的に大学を卒業し、すぐ就職して親孝行するわけです。でも、私は夢を追うために、両親と離れて、その部分を補償するという思いでそういう約束しました。

今でも、はっきり覚えています。来日したばかりの頃は日本語があまり話せなくて、できるバイトもあまりありませんでした。それで、先輩の紹介で、居酒屋のバイトを2年間くらいやりました。学校中心の生活でアルバイトは週、2、3回しかできないことで、学費をどう稼ぐか、すごく悩んでいました。そして、学費を稼ぐために、2年間の夏休み、春休み、冬休み、国へ帰らず週40時間以内にバイトして大学院一年目の学費を貯めました。

麗澤大学院に入って、同じ米山奨学生の先輩からロータリーについて色々聞くことができました。その時、「この先輩すごいな」と思いました。まさか自分も一年後米山奨学生になると思いもしませんでした。初めて、「奨学生に合格」というメールを見た時、信じられないぐらい、友達に何回もそのメールを見せて、確認してくれて、「あなた奨学生になったよ、本当だよ」と言ってくれた時、嬉しいのに涙が溢れて、泣いていました。その時、この奨学金、絶対無駄遣いをしてはいけないと思いました。

柏南ロータリークラブに入って、初めて例会に参加した時、ここに立って一度自己紹介をしました。その時、自分の名前すら思い出せないぐらい緊張しました。しかし、皆様が笑顔で対応してくださることでだんだん落ち着いてきました。また、毎月の例会に出席する際、毎回私が座る席が変わって、隣の席には毎回違う方が座っていらっしゃいました。それで今までいろんなロータリーアンの方々とお話をさせていただきました。本来でしたら、私の方から皆様にお話しさせていただくべきですが、正直、私は何を話せば良いのかわかりませんでした。それにも関わらず皆様がやさしく私に声をかけ、お話しをして下さいました。皆様の貴重なお話や会員卓話をたくさん伺うことができ、私の人生に対する考え方とても豊かになったと感じています。

ここで、お話しが変えさせていただきます。日本留学を終えた後の将来についてお話しいたします。

既にお話ししましたが、中国での日本語先生になりたいこそ、日本に参りました。そして、麗澤大学院の日本語教育学専攻に進学し、日本語と中国語対照研究について研究してきまし

た。両国の言語を比較し、日本人との交流を通じて日本の文化、日本人の考え方や価値観などへの理解を深めてきました。

そして、これから修士課程を修了することにしたがって、卒業し、中国に帰って、日本語先生になるわけです。しかし、人生いろいろとあって、彼氏との出会いで、日本に就職することを決めました。でも、日本でノンネイティブの日本語先生になることが非常に難しいと感じました。ほかの道を探さなければならない。それで、日本に留学している学生たちに対し、自分自身の留学経験することを活かして支援していくという考えで、現在外語専門学校で学校事務のアルバイトとして働いています。来日以来、ずっと学生の立場に立って勉強したり、先生と話したり、学校の事務員として内部から見ておくことは教育という事業の責任について日々深めています。

最後にロータリーに対する理解と感謝の思いについてお話しします。

このロータリークラブに入ってから、最も印象に残ったのは、ロータリアンの方々の奉仕の精神です。毎月のロータリーの友という雑誌を通して、ロータリアンが世界の理解、平和のために非常に素晴らしい奉仕活動を行なっていることに気づきました。奉仕という言葉は本当にロータリーのキーワードのような存在で、皆さんに知られています。一見この抽象的に聞こえる「奉仕」という言葉をどのように解釈すればいいかということについて、私は米山奨学生になってから、ずっと考えてきました。それで、この前の「ライラセミナー」に参加することをきっかけにロータリーの奉仕の精神を肌で感じることができました。奉仕というのは、目に見える物質的なものを与えるだけではなく、人の精神的な面を支えるのも奉仕だと考えます。つまり、自分のできる限り人を助けることや人に優しく接することも奉仕です。

私は米山奨学生になってから、学業にしろ、バイトにしろ、いつも身近なことから、責任を持って生きています。日本と中国の架け橋になりたいと思い、いつもSNSを通じて日本の良さや日本の方の優しさを母国の人たちに伝えています。

最後になりますが、この場をお借りして、いつもお父さんのように温かく見守ってくださる妻島さんと森さん、いつも優しく対応してくださる皆様に心より感謝申し上げたいと思います。この1年間お世話になりました。米山奨学生になったことが私にとっては、一生の宝物になるでしょう。今後も米山奨学生としての責任を持ちながら、自分の夢に向かって、まっすぐに生きて生きたいと思います。

今後柏南ロータリークラブのますますのご発展をお祈りしながら、私の卓話を終わらせていただきます。ご清聴、ありがとうございます。



米山記念奨学会寄付
ありがとうございました。
米山功労者2回目



柏ロータリークラブ
長谷川秀夫会員



3月のお祝い事
おめでとうございます。



お祝い事

会員誕生日：大内 啓 鵜田和之 服部秀雄
宮本邦雄 森 秀樹
家族誕生日：小高 潔 服部秀雄 久保田賢二
結婚記念日：小林義和 鵜田和之 友野俊政
丸山和則 久保田賢二

ニコニコ

小林義和 大内 啓
友野俊政 八木和男

ワンコイン／6, 141円



例会報告

例会数／1763回
例会日／3月6日（火）
出席率／62.5% 点 鐘／12：30
場 所／れいたくキャンパスプラザ
本日の出席会員／40名中21名）
浅野 了・荒木知太郎・池田 孝・
今井 昇・大内 啓・岡田勝久・
小林 亘・小林義和・斎藤由紀・
關口和行・田中 清・竹村隆一郎・
妻島不三二・戸部謹爾・友野俊政・
中島恵里・猫田岳治・宮 寛・
八木和男・山口修代・山崎康弘
オプザーバー：米谷昌紀さん
小島力人さん

柏南RC事務局

〒270-0011 柏市東上町7-18 柏商工会議所505
TEL／04-7166-3963 FAX 04-7186-6255
E-mail／ckmrc@io.ocn.ne.jp
HP／<http://kashiwa-minami.rid2790.org/>

例会日／毎週火曜日(12:30～13:30)

例会場／廣池学園キャンパスプラザ

TEL／04-7173-3558 FAX／04-7173-3550